

19歳以上でだれでも受験できるようになりました

担当スクール



# 1級建築施工管理技士一次養成Web講座

## 試験概要

受験資格

19歳以上  
学部制限なし

全国合格率

**42.9%**  
(過去10年間平均)

## 募集要項

▶申込期間は延長する場合がありますので、関大生協ホームページを随時確認してください。  
▶受験料については各試験団体にお問い合わせください。

## 講座ガイダンス

詳細はこちらからご確認ください



コース名	開講時期	受講形態	申込期間	開講期間	受講料	試験日
1級建築施工管理技士一次養成Web講座	2月初旬	Web	4月1日～翌年3月20日まで	2月上旬～7月19日まで	36,300円	2025年7月20日(日)

※事前収録された講義動画をWeb視聴して頂く学習スタイルです。

## 学習スケジュール(開講期間)



## 1級建築施工管理技士とは

1級建築施工管理技士の仕事内容は、鉄筋・大工工事・内装の仕上げ工事など建築工事すべての施工計画を作成し、現場での工程管理とともに品質・安全面の指導を行う、建築物における根本を支える重要な技術資格です。この資格を保有している場合、請け負う工事の規模に上限がないため、規模の大きな建築現場に関わることができます。また、記念碑や工事資料に名前が刻まれることもあるほど、名誉な仕事です。1級建築施工管理技士の資格があると、地図や歴史に名を残すような大きな仕事で活躍が期待できます。現場での仕事以外にも、新たに事業の営業所を立ち上げる際に必要なポジションとして、一般建設業、および特定建設業の専任技術者としての任を受けることが可能です。建築業界で転職をする場合、現場での経験年数とあわせて、資格を保有しているかどうか重要視されることが多いため、自分自身のスキルアップのためにも取得しておくことをおすすめします。また、元請の特定建設業者の請負代金額が5,000万円以上(建築一式工事は8,000万円以上)となる建設現場では、監理技術者の専任配置が義務となっています。そのため、1級建築施工管理技士の資格があれば、建設業界での転職も有利になる可能性もあります。



## 1級建築施工管理技士を取得するメリット

### 建築工事の技術上の管理をつかさどる 監理技術者として

施工計画を作成し、工程管理、品質管理等の技術上の管理や工事の施工に従事する者の指導的監督立場で、工事現場をとりまとめる技術上の最高責任者です。

### 個人はもちろん、 企業の技術力評価も高める

資格の取得により一人ひとりの評価を高めることはもちろん、企業としての評価を高め、企業全体の技術力評価にもつながる、「企業経営上」大変重要な資格です。

### キャリアアップ、技術力の証として

あなた自身にとっても、資格の取得は「技術的評価」と「管理能力」を備えた人材としての証となり、昇進・キャリアアップにつながる条件の一つとなります。個人の技術力の証として、是非とも取得しておきたい資格です。

## 学習内容

学習範囲をテキストで学習します。

現場映像やアニメーションなど使ったオリジナル動画講義を視聴し、学習内容の確認を行います。

問題集を使って講義で学んだ内容を確認を行います。

模擬試験で達成度をかけ、本試験へ追い込みをかけていきます。

特典

1級建築施工管理技士一次養成Webコースを受講された方は、1級建築士学科スーパー本科コース(生協学割 683,100円(税込))を**学生期間中**にご入学の際は、前記の生協学割学費からさらに**33,000円(税込)**が割引になります。

※社会人で1級建築士学科スーパー本科コースをご入学の際は、通常学費 869,000円(税込)になります。(2025年1月現在の学費)